

## 平成21年3月期決算参考資料

### 1. 連結業績の推移

#### 連結業績

(単位：百万円)

	平成20年3月期 実績	平成21年3月期 実績	前同比	平成22年3月期 通期予算
売上高	5,212	4,222	△19.0%	3,539
売上総利益	2,558	1,840	△28.1%	1,466
(売上総利益率)	(49.1%)	(43.6%)	—	(41.4%)
(販売管理費率)	(37.9%)	(41.8%)	—	(40.5%)
営業利益	583	73	△87.3%	31
(営業利益率)	(11.2%)	(1.8%)	—	(0.9%)
経常利益	538	77	△85.7%	25
当期純利益	261	20	△92.0%	10

#### 地域別売上高 連結

(単位：百万円)

	平成20年3月期 実績	平成21年3月期 実績	前同比	平成22年3月期 通期予算
国内	2,849	2,463	△13.5%	—
北米	1,199	807	△32.7%	—
アジア・オセアニア	809	652	△19.4%	—
欧州	354	300	△15.4%	—
計	5,212	4,222	△19.0%	3,539

注1) 上記区分に属する主な国 ・北米：アメリカ、カナダ  
 ・アジア・オセアニア：台湾、香港、オーストラリア  
 ・欧州：イギリス

注2) 平成22年3月期の通期予算における地域別の表示は、昨今の世界経済の情勢が急速に変化しており、地域別の詳細な見極めが困難なことから、現時点での記載を省略いたしております。

#### 研究開発費・設備投資

(単位：百万円)

	平成20年3月期 実績	平成21年3月期 実績	前同比	平成22年3月期 通期予算
研究開発費	455	361	△20.8%	338
設備投資額	105	150	42.9%	100
減価償却実施額	145	145	△0.3%	125

#### その他

	平成20年3月期 実績	平成21年3月期 実績	前同比	平成22年3月期 通期予算
為替レート(1US\$)	114.29円(平均)	100.58円(平均)	—	95.00円(期末)
為替レート(1£)	229.46円(平均)	174.16円(平均)	—	146.00円(期末)
従業員数(期末)	163名	179名	9.8%	—
臨時従業員数(平均)	107名	90名	△15.9%	—

## 2. 連結業績の概要

前年同期比で売上高が 19.0%減収、損益面では営業利益 87.3%、経常利益 85.7%、当期純利益 92.0%の各々減益となりました。なお、決算短信等と合わせてご参照ください。

### ① 売上高について

前年同期比 19.0%の減収。

その主な要因として、当期の世界経済は世界的な金融市場の混乱による景気後退局面を迎え、成長性が期待されたアジア地域での販売環境にも深刻な影を落としました。当社では、海外での販売子会社の設立や子会社での営業拠点の新設と合わせ、技術サポートなどの地域代理店との緊密な連携や、プロモーション活動の強化、自動車ショー等のイベントへの出展によるブランド浸透などによって販売活動の強化に努めました。しかしながら国内外において地域を問わず、嗜好性の高い自動車用品の消費は全体的に低迷した結果、前期と比較して 19.0%の減収となりました。

### ② 売上総利益率について

前年同期比 5.5 ポイントの減少。

前述の売上高の低下要因と合わせて、自動車用高額商品の消費収縮傾向から、売上単価の比較的低い製品の販売構成比が増加したことによるものであります。

### ③ 営業利益率について

前年同期比 9.4 ポイントの減少。

販売管理費の面では、海外販売子会社の設立や今後の事業展開に向けた人員確保による増加要因があった半面、可能な限り各種経費の節減や固定費圧縮などの徹底した収益改善に努め、前年比で 208 百万円（同 10.5%）の減少となりました。しかしながら、売上と売上総利益の減少を補うまでには及ばず、相対的に利益率としては減少いたしました。

### ④ 為替の影響

当期における為替の影響としては、為替差損 13 百万円を営業外費用に計上しております。

## 【注意事項】

本資料は発表済の決算内容や業績予想について補足的に説明するものであり、今後の業績は前提の変化により予想と異なる可能性があります。

お問合せ先

株式会社テイン 管理課（IR担当）

TEL 045（810）5511